

## 第4回 春日山原始林保全計画検討委員会 議事要旨

日時 : 平成26年4月11日(金) 午後3時00分～5時00分

場所 : 奈良県文化会館 集会室A・B

出席者 : 委員長 吉田 博宣

委員 川瀬 浩、佐野 純子、田中 和博、前迫 ゆり、松井 淳、  
宮城 俊作、山倉 拓夫

オブザーバー 文化庁記念物課 本間調査官

事務局 奈良県県土マネジメント部まちづくり推進局奈良公園室

関係部局 《奈良県》景観・自然環境課、森林整備課、森林技術センター、  
奈良公園事務所、文化財保存課  
《関係機関》春日大社、林野庁奈良森林管理事務所、  
奈良市景観課、奈良市文化財課

議題 ①平成25年度保全再生事業の進捗状況について

②花山・芳山地区保全・利活用部会の結果報告について

③平成26年度のスケジュールについて

議事要旨

○平成25年度保全再生事業の進捗状況について

- ・土壌侵食、多様なハビタットの保全、集水域等の要因も踏まえながら実証実験の考え方を充実すべき。
- ・下層植生調査は、県レッドデータブックの改定の取り組みと連携すべき。
- ・ナギの駆除作業は、高木の伐採等、作業レベルに合わせて体制を充実すべき。
- ・ナラ枯れ対策は確実な手法を実施できるよう、有識者を交えた検討を進めるとともに、市民の力を借りながら広域な見守り体制を充実すべき。
- ・春日山原始林の保全再生への参画を促すため、積極的に普及啓発を図るべき。
- ・市民団体と連携した取り組みの質を上げていくためにも、本検討委員会を継続開催し、アドバイスしていくことも必要である。

○花山・芳山地区保全・利活用部会の結果報告について

- ・花山・芳山地区の保全・利活用の取り組みの方向性について了承を得た。

○平成26年度のスケジュールについて

- ・希少動物に関わる調査については関係部局と連携して調査結果を充実すること。
- ・航空レーザ測量の成果を公開、利用できるようなシステムがあれば望ましい。

○まとめ

- ・谷部、流水部の保全再生は、流水域の専門家から意見を伺い手法を充実すること。
- ・モニタリングについては、水分条件や照度等、環境調査を実施していくこと。
- ・下層植生の保全再生は、実証実験と関連づけながら展開していくこと。
- ・外来樹種駆除については、森林組合等、熟練者の支援を受けながら進めること。
- ・また、計画的にナギを駆除するよう、植栽計画検討委員会と調整して検討すること。
- ・保全再生の推進は、市民により理解を得られるよう普及啓発を図ること。
- ・専門家の助言を得られるような機会づくり、体制づくりを進めること。